

モー ほっとけない！

Hayama

発行：平成23年4月15日
ごみ問題から葉山を救う会 通信Vol.10
代表 岩崎正巳 メール hayama_gomi@live.jp
ブログ <http://ameblo.jp/hayama-gomi>



葉山町クリーンセンター放流水がダイオキシン類基準値オーバーのため、昨年11月から焼却炉が稼働停止中です。

燃やして原因究明調査で再び基準値オーバー

12月30日採水分から14ピコグラム ※焼却停止のきっかけになった平成22年10月14日の調査では、11ピコグラムでした。

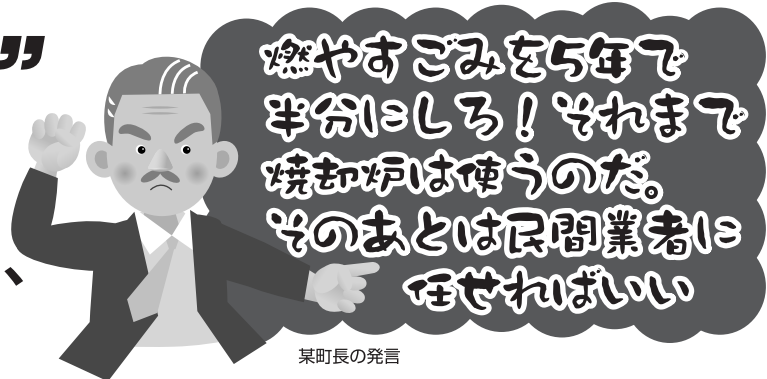
5ヶ月経ってもほとんど進まぬ原因究明

検出箇所が多くて、原因が特定できない！

2月25日の森町長名の横須賀三浦地域県政総合センター所長あて「改善計画報告書」より「(前略)排出水の基準超過原因として考えられることは、(中略)灰に触れた汚水が水処理施設に流入したためと考えられます。しかしながら、灰関係に触れない側溝等でも検出されている…(中略)。現在のところ原因については、ダイオキシン類の検出された箇所が多岐にわたり、原因とされる箇所が特定されるに至っておりません。(後略)」

“もう使わないで欲しい”

という町民の願いを無視して、焼却炉を使い続けようとする町長。脱焼却・脱埋立、ゼロウェイスト政策の非現実と破綻



某町長の発言

— 妥協と矛盾の23年度予算 —

町長原案と否決修正後の確定予算（関係部分）の比較（千円）

区 分	町長原案	増 減	確定予算	備 考
ごみ焼却処理事業費	122,704	△97,964	24,740	焼却炉補修関係経費を減額(予備費へ)※1
し尿下水道施設投入処理事業費	317,556	△317,556	—	度重なる、でたらめ調査でまたまた撤回
ゼロ・ウェイスト推進事業費	75,773	—	75,773	条例否決にもかかわらず指定袋の経費は計上のまま※2
予備費	50,870	117,556	168,426	焼却炉補修関係経費分等※1

※1 予備費として財源が確保されているため、年度途中で焼却炉補修の補正予算を議会が承認すれば、稼働再開できるので要注意です。

※2 指定袋制導入の前提である料金改定の条例が否決された(裏面参照)にもかかわらず、指定袋の経費は計上のままという矛盾した予算。

もうすでに1億円!

焼却炉の停止に伴う一日100万円の緊急処理委託費は死に金。同じ100万円を使うなら将来につながる使い方をせよ！

私たちはこう考えます!

直ちに廃炉にし、近隣自治体との共同処理を目指すという町の方針を固め、そのうえで、計画実現までの間、横浜市など近隣自治体に処理をお願いするのが最も現実的な選択だと、私たちは考えます。

そのために、ゼロ・ウェイストというごみの減量・資源化だけの政策から、ごみの処理処分にも責任を持って向き合う、真のごみ処理政策に転換するよう、町長に強く求めます。

当会の趣旨に賛同いただける方はご連絡ください。

TEL・FAX 046-875-3270

支援金の振込先 横浜銀行 葉山支店（普）1193830
ごみ問題から葉山を救う会 岩崎正巳



“葉山町の選択肢は3つ” エコではなくエゴ!!今の葉山のごみ処理

- 1 現焼却炉を、毎年1億円以上の補修整備費を投入しながら使い続ける。
- 2 葉山町内に、新たに町単独で小規模処理施設を建設する。
- 3 近隣自治体と共同してごみ処理施設を確保する（広域処理）。

現焼却炉は稼働後34年経過。毎朝夕、点火と消火を繰り返す、ダイオキシン類の出やすいバッチ式炉。毎年1億円以上の補修費がかかる。旧建築基準による耐震性の低い施設のため、地震による損壊で使用不能になり、多額の税金が瞬時に無駄になってしまう恐れ大。

建設する場所をどこにしますか？町民の合意が必要です。小規模のため国の助成（建設費の3分の1）が得られない。また、小規模の連続燃焼式の炉は、現在技術的に実証されたものはない。

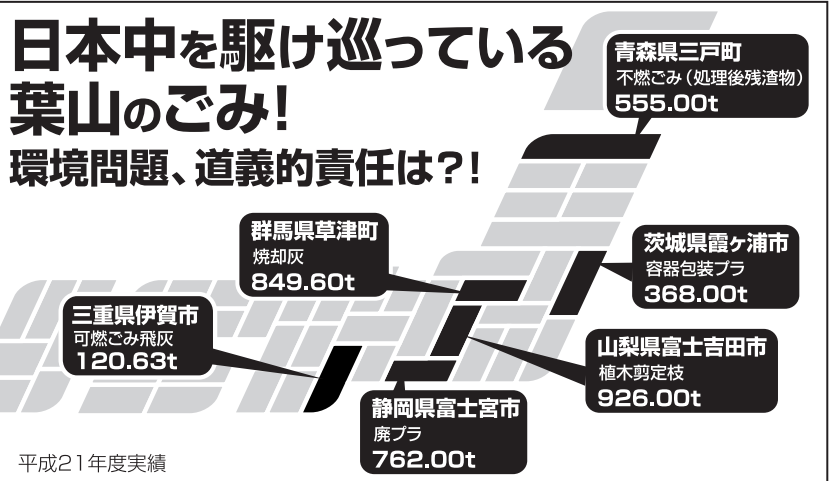
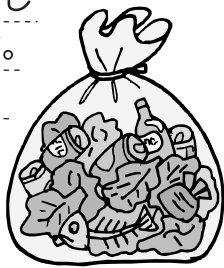
単独の場合より割安で、より厳しい排ガス規制に対応した連続燃焼式の焼却炉が確保できる。応分の負担（※）と、共同処理する相手自治体との合意が必要。三浦市や二宮町はこの方式。
※因に、横須賀市・三浦市の場合は建設費の23%が均等割、77%がごみ量割。運営維持費は100%ごみ量割です。

小規模自治体の葉山町にとって、③が最も現実的で、経費的にも環境面でも有利だと、私たちは考えています。

町長は、民間業者に委託をすればいいと考えているようですが、その民間業者は他自治体内で処理事業を行なっています。葉山町のごみが持ち込まれると、その自治体のごみ処理計画に影響しますので、事前に協議することが義務づけられています。

自分で出したごみは自分達で処理するというのが、人としての基本であり、廃棄物処理法 の精神です。

また、民間業者には事業の継続性や価格面で不安があり要注意です。



指定袋制導入に伴う料金改定の条例が否決

町長が、戸別収集と指定袋制の同時実施を行うために提案した、「葉山町廃棄物の減量化資源化及び適正処理等に関する条例の一部を改正する条例」が、反対多数で否決されました。

- 反対した議員** 伊東、加藤、佐野、鈴木知、笠原、中村、金崎、待寺、伊藤、守屋
- 賛成した議員** 阿部、近藤、畑中、森、山梨、土佐
- (敬称略、順不同)

(否決の主な理由)

①この事業の実施にあたっては、全町民の十分な理解と協力が不可欠である。本年7月全町一斉実施という計画だが、準備期間が短すぎる。

②ごみと一緒に燃やしてしまう指定袋の経費が本年度約2700万円。これは毎年必要になる無駄な経費である。

やっばり7月実施は延期 4月8日全町協議会で

森町長の不信任決議案提出される

森町政3年間の責任を追及する町長不信任決議案が、3月10日の本会議で伊東圭介議員から提出され、森勝美議員を除く全議員16名中、過半数の10名が賛成したが、必要な4分の3に達せず、否決されました。

- 不信任決議に賛成した議員** 伊東、加藤、佐野、鈴木知、笠原、中村、守屋、金崎、伊藤、待寺
- 不信任決議に反対した議員** 阿部、近藤、畑中、山梨、土佐、鈴木道
- (敬称略、順不同)

＜森英二町長の不信任決議案(全文)＞

森町長が就任して3年2カ月、いま葉山町政は、重大な局面に差し掛かっている。

葉山町議会は、平成20年10月17日には「森英二町長に反省を求める決議」を、平成22年12月9日には「森英二町長に対する問責決議」を、さらに本年3月4日には「下水道投入施設建設工事が中止に至った原因究明と責任の所在を明らかにすることを求める決議」を可決したところである。

森町長は、公約をことごとく反故にし、嘘とごまかし、すり替えに終始し、町議会や町職員は言うに及ばず、町民の間で不信と批判が高まっている。将来の葉山を見据えた着実な取り組みを放棄し、現実的裏づけのないその場しのぎや思いつきの町政運営を行っている。森町長の町政運営にかかる問題は広範で根深く、かつ是正されていくことも期待できない。

平成20年5月に、議会意思を反故にし、2市1町のごみ処理広域化から町長の一存で離脱した。ごみ問題に関する町長の一連の行為は、財政的裏づけや将来的展望もなく、近隣自治体から訴訟を提起されるなど、町民に対して多大なる不利益を及ぼしている。

また、11月25日には、焼却処理施設からダイオキシン類の検出が判明し、焼却処理を停止する事態に陥ったことはゆゆしき問題である。ダイオキシン類の検出は、ごみ処理広域化からの離脱後の代替案としてのゼロ・ウェイスト政策は理念であって、ごみ問題すべてを解決する施策になっていなかったことが原因にほかならない。ダイオキシン類の検出により、ごみ焼却炉を停止している状況にもかかわらず、焼却炉修繕等、例年通りの予算計上がされたことは、現状把握と危機管理のなさは、町長としての資質に欠けるものと判断する。このように、ごみ問題に限っても森町長の姿勢には、

町民への無責任極まりない政治姿勢があるが、これまでの幾度とない陳謝と発言の撤回や修正、さらには繰り返し議会答弁を反故にするなど、町民・議会・行政の不信を招く言動があまりにも多く、これらの事態を議会として、もはや看過できない状況にあることを町長は認識すべきである。

さらには、長年の議会の要望であり、町の懸案でもあったし尿等の下水道投入施設建設工事が計画施設規模の建物に必要な敷地面積が確保できずに、建設工事が中止に追い込まれ事業の見直しを迫られることになったが、説明と事実関係が食い違うことが明らかとなった。これらの事実は、背信行為であり、説明責任が果たされていないと強く指摘せざるを得ない。基本的な事前調査が不十分であるあまりに杜撰な計画であり、多大なる損失を町に与えた責任は重大である。このような失態は、森町長がトップリーダーとしての問題解決能力を一切持ち合わせていないことと、リーダーシップも組織運営能力も欠いていることを露呈しているものである。また、その執行責任者としての責任を痛感し、自らの襟を正すためとした提案は、町長給料の10%を2カ月カットするという安易なものであった。到底このようなことで認めるわけにはいかない。これ以上、森町長に葉山町の舵取りを任せられるものではない。

町内外の信頼を著しく失墜させ、葉山町政を混乱、混迷させた責任は誠に重大である。近隣自治体との信頼関係を悪化させ、町を不利益な方向に進ませている森町政の政治責任と道義的責任は極めて重大であり、まことに遺憾の極みである。

よって、葉山町議会は森英二町長を信任しない。

以上、決議する。

平成23年3月10日

葉山町議会